



山形の秋の味覚。薄紫の果皮が美しいあけびです

人と人との力 地域の力 東北の未来に

村山総合支庁ニュース

—Murasou News— 第175号 平成28年10月号 山形県村山総合支庁

お知らせ

ジョイフル産直開催！！

きたむらやま産直組織ネットワークでは、消費者との交流を通して産直の良さをPRするため、第18回「ジョイフル産直」を開催します。期間中は、ネットワーク加盟の各直売所で独自のサービスやプレゼントを実施します。スタンプラリーでは、各直売所またはいっせい直売会で2ヶ所以上の直売所でスタンプを3つ以上集めて応募すると、抽選で36名の方に農産物など地域の特産品をプレゼントします。(北村山農業技術普及課 0237-47-8632)



男性も参加。人気の漬物体験

○ スタンプラリー ○

開催期間：9月16日(金)～10月16日(日)

開催直売所

<期間中毎日開催>

- ・まごころ広場 (村山市 道の駅むらやま内)
- ・よってけポポラ (東根市 市民体育館向かい)
- ・農家百人の直売 (東根市泉郷)
- ・産直ねまる (尾花沢市 道の駅尾花沢内)

<定期開催>

- ・新鮮！木曜市 (村山市 村山総合支庁北村山地域振興局内 毎週木曜)
- ・花笠産直 (尾花沢市 徳良湖温泉花笠の湯前 毎週日曜)
- ・鶴子ふれあい市 (尾花沢市 花笠高原荘前 毎週日曜)
- ・かあちゃん市場 (大石田町 あったまりランド深堀 毎週土・日、祝日)
- ・次年子ふるさと直売所 (大石田町 次年子ふるさと自然館前 毎週土・日、祝日)

○ いっせい直売会 ○

・日時：10月16日(日)

午前10時～午後3時

・場所：「徳良湖温泉」内特設会場

・内容：9つの直売所が地元農産物等を直売します。

限定200食のオリジナル「産直鍋」サービスや、20名限定の漬物体験「カラフルピクルス」(参加費500円、持ち帰り品付き)などのお楽しみ企画もあります。

多数の御来場をお待ちしております！！

「村山旬の市」URL

<http://www.murayama-shun.com/>

お知らせ

「仙山交流味祭inやまがた」を開催します



昨年の様子賑わっています！



「仙山交流味祭inやまがた」は、旬の野菜や果物、海産物など、山形と宮城の“んまいもの”が大集結する産直交流イベントです。平成16年度から開催しており、今回で13回目になります。

今年は、「やまがた技能五輪・アビリンピック2016」の併催事業として、山形ビッグウイングで開催し、全国からのお客様を、山形と仙台の美味しい共演でお迎えします。

皆さま、ぜひ、お越しください！

◇日 時 10/22 (土) 10:00～16:00
23 (日) 10:00～14:00

◇会 場 山形ビッグウイング イベント広場
(山形市平久保100)

- ◇内 容 ○ 山形・宮城の旬の農林水産物、特産品の販売
- 山形・仙台地域の観光PR
- 山形と仙台のご当地鍋の味くらべ「仙山鍋まつり」
- お楽しみ抽選会
- 先着100名様(両日)に旬の農産物をプレゼント

※県立中央病院からシャトルバスをご利用ください。

総務課連携支援室 023-621-8353

お知らせ

村山地域の農産物を楽しむイベントのお知らせ

野菜料理フェアの予告（11月）



「イタリア野菜」を使ったパスタ

村山総合支庁では、村山地域で古くから栽培されている「やまがた野菜」に加え、新たに産地化を進めている「イタリア野菜」の普及・消費拡大と観光誘客を目的に、11月に村山地域のレストラン（10店舗）において、やまがた野菜等を用いた各店舗オリジナルのイタリア料理を期間限定で提供する、野菜料理フェアを開催する予定です。ぜひご期待ください！

（地域産業経済課 023-621-8432）

週末は山形で農園ランチ

週末に農園で新鮮な野菜や果物を収穫し、農園内や近くのカフェやレストランでランチを楽しむ「週末は山形で農園ランチ」は11月13日まで好評開催中。ご予約方法等企画の詳細については東根市観光物産協会（0237-41-1200）にてご確認ください。

（観光振興室 023-621-8441）



上山市の「高橋フルーツランド」で食べられる美味しいランチ

知事の ほのぼの訪問

365歩のマーチに合わせてミュージックケア

一人ひとりとしっかり握手

平成28年8月17日に、上山市の特別養護老人ホーム「蓬仙園」を訪問したときの様子です。

（総務課
023-621-8106）



● 山形県知恵袋委員会 ●

村山地域の知恵袋委員会を、8月8日、村山総合支庁本庁舎にて開催しました。

委員からは、安全安心分野では、山形県の全国1位のボランティア力を生かした元気な高齢者の介護分野での活用や、クマ目撃情報のエリアメールの検討、子育て・人づくり分野では、人口減少対策として婚活事業の広域化の推進、子育てにおける読み聞かせの推進方策、産業・雇用分野では、山形への移住推進に、都市部と山形暮らしでの生活費や遊興費の比較データによる更なる情報発信の必要性、県土基盤分野では、地域おこしの活性化として地域づくりグループの研修会の必要性などについて提案がありました。

今後各部局で取り組みを検討し、委員の意見に対する県の対応について報告することとしています。

（総務課 023-621-8106）



越後委員から、生け花を飾っていただきました

シリーズ ~むらやまの若人(わこうど)たち~Vol.47

かやぶ わら

わち こうへい

~茅葺き・藁の文化を土地の魅力として発信！~上山市地域おこし協力隊 和地 耕平さん



「茅葺きや藁を使ったイベントを通して魅力を広げていきたい」と語る和地さん
 問合せ先：上山市役所生涯学習課
 文化財・文化芸術係
 023-672-1111(内線315)

和地さんは栃木県出身の25歳。この4月から上山市に地域おこし協力隊として着任し、「茅葺き・藁文化保存継承活動」を担当している。

そもそも和地さんが茅葺きに興味を持ったのは、東北芸術工科大時代、サークル活動で村山市の五十沢地区民家の茅葺きを体験したことだった。上山市が進める「茅葺きの保存継承プロジェクト」は、和地さんのものづくりをとおして地域に入りたいという思いを実現できる活動そのものだった。

5月から9月まで民家と文化財5軒の修復作業に携わった。和地さんの仕事は主に、地元の女性職人と河北町の80代男性職人を手伝えることである。ものづくりをめざす和地さんにとって、「職人の手の跡が残ること。職人によって仕上がり具合が異なること」が茅葺きの魅力だと語る。しかし、現在、茅葺き職人は県内で10人程、ここにも高齢化と後継者不足という課題が見えてくる。

そこで、今後は「茅葺き体験プログラム」を企画し、仮設で屋根をつくって多くの人に茅葺きを体験してもらいたいと意気込む和地さん。この秋、地元の小学生と稲藁を使った体験学習を計画している。もう一つは「茅場の再生プロジェクト」。現在、他県から調達している茅を自給自足できるようにするというもの。茅は嫌われ者だが、うまく活用することでそこにしかない魅力として新たな価値を見いだせるのではないかと話す。「自分の手を動かして物を生み出すことで、地域の人たちの交流の架け橋となりたい。」と願う和地さんの思いは尽きない。



茅葺き調査(橋本屋)

(子ども家庭支援課 023-627-1153)

● 村山地域森づくり揭示版 ●

○ 村山地域森の感謝祭開催 ○

平成28年9月24日(土)、大江町「大山自然公園」において村山地域の自然の恩恵に感謝し、森を守り・育てることの重要性を広く訴えることを目的に、300人の参加者を得て、村山地域森の感謝祭を開催しました。

式典の中では、村山地域森林・林業功労者の表彰や緑の少年団によるリレー旗引継ぎなどを行いました。

その後、代表者による薪割に続き、森づくり活動として、参加者全員で公園の散策路に間伐材のチップを敷いて、木使いをアピールしました。

(森林整備課森づくり推進室 023-621-8156)



○ 職員出前講座を開催 ○

NPO法人やまがた育児サークルランドから依頼のあった講座「自然木のえんぴつ作り」を、9月10日(土)山形市のべにっこひろばで開催しました。

当日は4歳から10歳の児童と保護者37名が参加。材料となる木はサクラ、ケヤキ、タムシバの3樹種、それぞれに特徴があり、どの木のえんぴつを作るのか悩む子もいましたが、森林整備課職員の指導で親子いっしょに削ったりして、素敵なえんぴつ27本ができました。



地域探訪 尾花沢 田んぼの美術館(田んぼアート)

尾花沢市福原地区を拠点とする「福原ふるさと塾」が、平成25年から「田んぼの美術館」(田んぼアート)の作成に取り組んでいます。絵柄誕生の詳細は、福原ふるさと塾のホームページをご覧ください。

<http://fukuhara.web.fc2.com/>

(総務課 023-621-8106)

スイカ太郎とつや姫の出会い



(尾花沢市名木沢)

くまモンと雪ごろう



(尾花沢市禁町)

10月はきのこ食中毒予防月間です

近年、山形県はきのこ食中毒の発生数が全国でNo.1となっています。「ツキヨタケ」「クサウラベニタケ」の誤食が多く、特に注意が必要です!

採らない!

食べない!

食用きのこ判断できない時は・・・

売らない!

あげない!

※同じようなきのこが生えていても毒きのこが混在している場合があります!

★中毒症状を起こしたら★

速やかに医療機関を受診し、又その際、食べ残しなど残品がある場合は、持参するようお願いいたします。

ツキヨタケ

芯を縦に裂くと、
黒いシミ有り

幼茸はシミ無の場合あり! 危険!



(生活衛生課 023-627-1185)

10月は不法投棄及び海岸漂着 ごみ削減強化月間です

山形県では、10月1日から10月31日までを「不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間」と定め、住民、事業者、行政が一体となつて不法投棄の巡回パトロールを実施します。昨年7月間中に延べ100名以上にご参加いただき、36箇所を巡回し3件の不法投棄が確認されました。

山形の美しい景観を守るため「不法投棄をしない、させない、許さない」地域づくりを進めましょう。

不法投棄防止の
ラッピングバス



(環境課 023-621-8422)

消融雪設備技術展示会

消融雪設備は、冬期間を安全で快適に過ごすことができる最も効果的な雪処理のひとつです。お住まいに合った設置方法など、お気軽にご相談ください。

- 日時 10月22日(土) 12:00~16:00
10月23日(日) 9:00~15:00
- 場所 山形県総合運動公園(天童市山王)
山形県林業まつり会場
(やまがたゆきみらい推進機構(北村山総務課)
0237-47-8614)



~雇用のトラブル、まず相談~ 労働相談会の開催

解雇、賃金引下げなどの労使間の問題でお悩みの方のために、県内2か所で労働相談会を開催します。(相談無料・秘密厳守)

- ◆日時 10月16日(日)
午前10時~午後3時
- ◆会場 県庁、鶴岡市勤労者会館
- ◆対象者 県内事業所に勤務している(いた)労働者、事業主の方など

※電話予約をお願いします。

(労働委員会事務局
023-630-2793)
(県庁14階)



山形県のご当地キャラクター紹介コーナー ~その2~ ペロリン



出身地：山形県 性別：??? 誕生日：???

お仕事：山形県の安全で安心な農産物等を広くPRし、
たくさんの方々に食べていただくこと。

性格：県内のおいしい農産物に目がない食いしん坊。

趣味：山形県内のおいしい農産物等を食べること。

特技：逆立ち (総務課 023-621-8106)



あとかき

夕暮れが日に日に早くなり、秋が深まっていくのが感じられます。食欲の秋、山形はおいしいものがたくさんですが、秋の七草を探してみるのも一興ですね。

■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課総合相談担当
Tel. 023-621-8106
Fax. 023-624-3056

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからもご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

